

## 第1回亀岡市立病院経営強化プラン策定検討委員会 議事録

日 時： 令和4年9月27日(火曜日)15時30分～16時30分

場 所： 亀岡市立病院 2階「ウェルネスホール」

出席委員： 玉井病院長、田中副院長、松尾診療部長、後藤看護部長、竹内経営企画室長、  
土岐病院総務課長、小笹医事課長、八木放射線技術科長、林患者支援センター主幹、  
高木企画調整課長、山本財政課長

＜事務局＞経営企画室

### 【次 第】

- 1 開会
- 2 議事
  - (1)公立病院経営強化ガイドラインについて
  - (2)内部分析・外部分析について
  - (3)その他
- 3 閉会

### 【議 事】

#### ■事務局

本委員会の目的は、総務省から令和4年3月29日付で通知された「公立病院経営強化の推進について」の「持続可能な地域医療提供体制を確保するための公立病院経営強化ガイドライン」に基づき亀岡市立病院のプランを作成するために設置した。

これまで各地方公共団体において、病院事業の経営改革の取組が行われてきたが、依然として、医師・看護師等の不足、人口減少や少子高齢化の急激な進展に伴う医療需要の変化、医療の高度化といった経営環境の急激な変化等厳しい環境が続いており、持続可能な経営を確保しきれていない病院も多いことから更なる取組が必要とされた。更に、新型コロナウイルス感染症の蔓延により公立病院の果たす役割の重要性が改めて認識された。

経営強化ガイドラインでは、対象期間中に経常黒字化できる目標値とそれを達成するためのアクションプランの策定を求めている。

今回のガイドラインの内、特に重要と思われるポイントは、①地域医療構想等を踏まえた当該病院の果たすべき役割、②機能分化・連携強化、③医師・看護師等の確保と働き方改革、④第8次医療計画の記載事項として「新興感染症の感染拡大時等の医療」が加わる事を踏まえた取組等である。

今後の病院のあり方や方向性を協議検討し、プランを策定する。本強化プラン、アクションプランについては、病院事業担当部局だけでなく、一般会計の企画・財政担当部局や都道府県の助言も踏まえ連携して策定しなければならない。また、有識者の助言や市民の理解を得なければいけないことから、外部評価委員会でのプラン策定状況や、本会議の議事録公表、パブリックコメント等を行いながら進めていく。

#### ■病院長

今後病院が担っていくべきことは、第8次医療計画で新興感染症対策が加わったが、基本的には5疾病6事業を継続していく必要がある。その中でも糖尿病や在宅医療、感染症対策が当院の担うべきものである。マンパワー的に対応できないものは、他病院と連携していく必要がある。

色々な問題点がある中で、黒字化をすることも大切だが、どのように改善していくかを行政も含めて報告し合いながら、共通認識として携わって欲しい。

これからの委員会で経営企画室が出す数値などの資料で、目標とすべきものを明確にして、市民や行政も理解して、病院の職員が最大限の努力を継続できるようなアクションプラン作成をしていかなければならない。

#### ■事務局

次回の委員会開催は、1月を予定。外部の同じ病院規模のベンチマークを表したいと思っているが、

何か資料で出して欲しいものがあれば経営企画室へ提案して欲しい。

プラン策定は、市民の理解を得ながら進めていかねばならないため、委員会の議事録を病院のホームページに公開する。

本内容については、12月に開催される亀岡市立病院経営審議会でも進捗状況を報告する。

<会議資料>

- ・持続可能な地域医療提供体制を確保するための公立病院経営強化ガイドライン
- ・【資料1】持続可能な地域医療提供体制を確保するための公立病院経営強化ガイドラインについて
- ・【資料1】:病院事業会計推移 ※
- ・【資料2】:診療科別計画書 ※
- ・【資料3】:南丹医療圏の救急及び紹介件数など一覧
- ・【資料4】:総論(人口)、各論(医療・福祉)の説明

(※【資料1、資料2】については、ホームページに掲載しません。)

以上